

2025(令和7)年 10月 7日

報道関係者 各位

松 山 大 学
(全 2枚送信)

本邦初公開の研究成果も解説！ドイツ法学者が本学にて講演
2025年度 松山大学法学部学術研究会・講演会 開催
10月14日(火) 16時より研究会、18時より講演会を同日開催

松山大学法学部では、地域の皆さまの新たな学びの場として、不定期に法学部学術研究会・講演会を実施しています。

今回は、ドイツの法学者でナチスの法学理論を支え、多大な影響を与えたカール・シュミットの遺稿管理人であり、ドイツ憲法学の若手・中堅のホープとして活躍する世界的研究者 ゲッティンゲン大学法学部教授 フロリアン・マイネル氏を講師に迎え、ご講演いただきます。

本邦初公開の内容も多く、世界的にも研究成果の発表の場として、また学生や市民を対象とした講演会としても、きわめて貴重な機会となります。ぜひ、ご取材ください。

コーディネーター 松山大学法学部教授 遠藤 泰弘(えんどう やすひろ) コメント
研究会では現在解説が進行中のカール・シュミット日記帳について、シュミットの遺稿管理人でもあるフロリアン・マイネル教授ご本人から第二次世界大戦中のシュミットの日記に関する最新の研究成果を披露していただきます。また講演会ではドイツ公法学にとってのカール・シュミットの意義について、入門的な内容で初学者にもわかりやすく解説していただきます。



フロリアン・マイネル氏 プロフィール

1981年ドイツ・マールブルク生まれ、ベルリン大学で法学を専攻、2010年法学博士(ベルリン大学)、ヴュルツブルク大学教授などを経て、2020年よりゲッティンゲン大学教授
ゲッティンゲン大学でシュミットの日記帳を解説するプロジェクトを主宰
専攻:政治理論・政治思想史、比較憲法



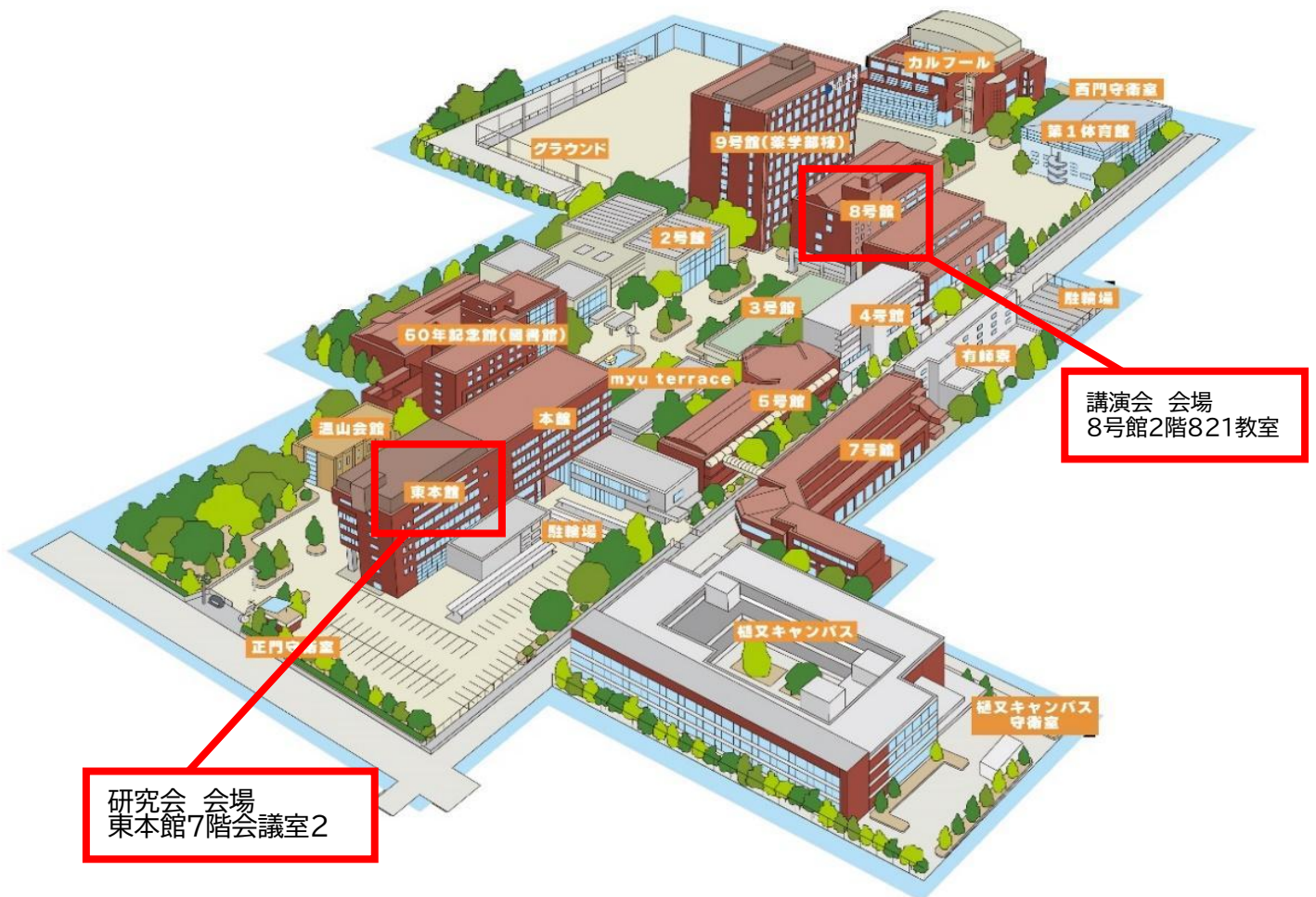
【法学部学術研究会】

日 時：2025年10月14日(火) 16時00分～17時30分
会 場：松山大学東本館7階会議室2
題 目：古いノモスと新しいノモスの狭間で～日記に映し出されたカール・シュミットの姿
論 者：フロリアン・マイネル氏(ゲッティンゲン大学・法学部・教授)
参 加 者：学生・市民・教職員

【法学部学術講演会】

日 時：2025年10月14日(火)18時00分～19時30分
会 場：松山大学8号館 821教室
題 目：カール・シュミットの憲法理論入門
論 者：フロリアン・マイネル氏(ゲッティンゲン大学・法学部・教授)
参 加 者：学生・市民・教職員

<会場>



[このリリースについてのお問い合わせ]

松山大学教務課 法学部担当 電話：089-926-7137（直通）

